ハギオス
HAGIOS
北海道聖化大会　NO.24　2021.4.1 発行

「わたしが聖（ハギオス）であるから、あなたがたも聖でなければならない」Ⅰペテロ 1:16

巻頭言

『神の庭で』

日本ナザレン教団札幌教会　古川 修二

「幸いなことよ。あなたが選び、近寄せられた人。あなたの大庭に住む人は。」（詩篇六五篇４節）

京都から札幌に来て、四月で十一年になります。久保木勁牧師の後を受けて、出来るだけ先生が関わってこられた教派を超える主の働きも引き継がせていただくようになりましたが、その一つが北海道聖化大会委員としての役割でした。しかし、札幌に赴任して二年後に、所属する日本ナザレン教団の理事となり、八年間は出張で、委員会に欠席することも多くなりました。それでも、委員の先生方はいつも温かく迎えてくださり、とても居心地が良い主にある豊かな交わりに加えていただいていることを喜び、深く感謝しています。その交わりの中心に、いつも、昨年主の御許に帰られた委員長の高橋養二先生がおられました。主と主の御言葉の前に、どこまでも謙遜で、主の愛と聖さに満たされておられた先生が導く委員会は時に厳しく、温かさに溢れていました。ご自分の考えを祈りつつ率直に述べながら、語り合い、主の御旨を求めて歩むその姿勢を私はいつも素晴らしいと思っていました。高橋先生が目指していたのは、詩篇十五篇にあるように、「全き者として歩み、義を行い、心の中の真実を語る人」としての信仰者の姿であり、「主を恐れる者たちが互いに語り合う時に、主が耳を傾けて、これを聞かれる」（マラキ三章16節）という確信であったと思います。

以前、先生ご夫妻からいただいた御本に、聖書日課「神の庭で」があります。その一月一日の頁に「神様の愛に溢れた庭で、人が自由と安らぎと豊かさを楽しむこと、それがイエス様を通して与えられた救いの恵みである」という高橋先生の美しい文章があります。その主の恵みを味わいつつ、神の庭で御言葉に養われ、主にある全き聖さを目指しつつ、走るべき道のりを走り終え、信仰を守り通された高橋養二先生を覚えて、主の御名を崇めています。

目　次

〔巻頭言〕　古川 修二
2 …新委員長ご挨拶　岡田 順一
3 …故高橋先生を偲んで　佐藤 佳治
4 …ご案内／あとがき

「新委員長就任のご挨拶」

ウェスレアン・ホーリネス教団札幌新生教会　岡田順一

昨年は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行によって、北海道聖化大会も中止せざるをえませんでした。当時の委員長であった高橋養二先生と相談し、断腸の思いで中止を決断したことでした。そして六月のこと、高橋養二先生が訪問くださり、健康のために委員長を退き、私に委員長になるようにとのお言葉でした。一旦はお断りしましたが、理由がご健康のためとのことでしたので、他の役員の先生方がご了承くださることを前提にお引き受けしました。

その後、高橋養二先生は闘病生活を経て、遂に一二月六日に平安のうちにご召天されました。七九歳でした。高橋先生は、しばしば日本聖化交友会の発起人であった本田弘慈先生のことを私にお話くださいました。本田先生の著書である「聖化の恵み～人はきよくあり得るか～」の冒頭に次のように記されております。「神の恵みによって、私たちがキリストの御救いにあずかり、祝福と勝利の道を歩むとき、そこには大きな喜びがあります。それは信じた者のみが持つ大きな特権です。多くのクリスチャンは、神の恵みの深さを知り、その大きな愛に対する感謝にあふれています。ところが、時々、喜んでいるはずのクリスチャンが元気をなくしていたり、勝利が得られなくなっている姿を見ます。また、心の中に深い悩みを抱きながら、時には主の恵みより離れ去ってしまう人もあるのです。…クリスチャンの戦いの敗北の原因は外部にあるのではなく、実は、そのクリスチャンの内部にあることを見出します。この内部の問題を扱うのが、聖化なのです」と。

高橋養二先生は、常に喜びに満ちているお方でした。私も何度も高橋先生から愛に満ちた言葉、祈りによって励まされ、喜びの大いなる感化をいただきました。その高橋先生の中に満ちていた喜びは、本田先生が記しておられるように、聖化の結果としての尽きない喜びでした。私もそれを受け継いでいきたいと心から願っております。

「神の御心は、あなたがたが聖なる者となることです。」（Ⅰテサロニケ四章3節）聖なる者となることは神の御心です。親が子の健康を願うように神は私たちが霊的に健康であることを願っておられます。コロナ禍にあっても皆さんの内に尽きない喜びがあふれているでしょうか。どうか北海道聖化大会に霊的健康診断のためにぜひご出席ください。

故高橋養二師の思い出を語る

「共に開拓伝道に召された仲間として」

札幌キリスト宣教会美しが丘グリーンチャペル　佐藤佳治

昨年 12 月 6 日、主の許に召された故高橋養二師

高橋先生との出会いは、私たち家族が三一年前、一九九〇年札幌開拓伝道に導かれて来た時です。五月頃、私の母校(東京聖書学院)の恩師齋藤孝志先生は、札幌めぐみ教会の高橋先生と私に、同時にお互いを紹介するお葉書を下さいました。間もなく、高橋先生からお電話を頂き「今日これから来ませんか?」とのお誘いを受け、その日早速伺いました。高橋先生ご夫妻は、五人のお子さんと一緒にご家族だけで札幌東区で開拓伝道を開始して九年が経っていました。二人とも北海道道南出身であること、家族だけでゼロからの開拓伝道であることなど、いくつかの共通項があって意気投合したような気持でした。その後、先生ご夫妻は何かと心を砕いてくださり、アパートで礼拝を始めて何もなかった時、めぐみ教会で使われていた電気オルガンを軽トラックで運んで献品してくださいました。忘れられない思い出の一つです。

先生は、すぐにＳＳＫ(札幌宣教交友会)に誘ってくださいました。更に翌年、第三回札幌聖化大会(現北海道聖化大会)後に開かれた札幌聖化大会委員会に、高橋先生の推薦で委員として出席することが許されました。ＳＳＫと聖化大会における集会の恵みはもちろんですが、大切にされてきたことは、先生方との交わり、学び、祈り合うという関係を築いてきたことではないかと思います。

このように、高橋先生はホーリネスの信仰を旗幟鮮明(きしせんめい)に掲げると同時に、誰に対しても友人としてご自分から手を差し伸べ、主にある友情を築いてこられた方でした。

二〇一六年二月に癌を発症されてから二〇一八年まで先生が書かれた闘病記録が手元にありますが、これはみ言葉と祈りの記録です。先生はまさにみ言葉と祈りの人であったことが明らかにわかります。

先生と私は年齢は同じでも、私は牧師としては経験もなく未熟なまま開拓伝道に導かれました。それゆえ折々に相談に乗ってもらい祈っていただきました。何の趣味もない者でしたが、初めて釣りを教えていただき、師匠としても楽しい交わりを与えられました。天国で、主の御前で再会できる日を待ち望んでいます。

先生が召された日、次のみ言葉が私の心に響きました。

「私は勇敢に戦い、走るべき道のりを走り終え、信仰を守り通しました。今からは、義の栄冠が私のために用意されているだけです。」

(テモテ第二の手紙四章7、8節)

第 29 回北海道聖会講師を囲んでの一コマ

■第32回 北海道聖化大会

わたしが聖であるから、あなたがたも聖でなければならない。
― Ⅰペテロ1:16 ―

■ 講師

郷家(ごうや)一二三(ひふみ)先生

プロフィール

1952年生。高校2年の時に誘われて Hi-b.a.川越集会に通い出す。一時離れ、3年の秋に友人の死と出会い教会の門をたたく。19歳の時に坂戸キリスト教会で洗礼を受ける。浪人中に「熱河宣教の記録」を読み、中国宣教を志す。東京教育大学卒業後、埼玉県で高校教師を12年勤める。教師10年目の1985年、中国山西省太原市の山西大学で日本語を1年間教える。36歳で献身。東京聖書学院を卒業後、立教大学で組織神学修士を得て、現在は日本ホーリネス教団坂戸キリスト教会主任牧師、東京聖書学院講師。

2021年
5／18（火）・19（水）

■ 会場 ※今年は、会場が変更になっております。

ｳｪｽﾚｱﾝ・ﾎｰﾘﾈｽ教団札幌新生教会
中央区大通西11丁目4−30
TEL 011-261-6848

5/18(火)	5/19(水)
	10:30am 聖会Ⅱ
4:00pm セミナー	2:00pm 聖会Ⅲ
7:00pm 聖会Ⅰ	

※受付での検温・消毒、マスク着用、間隔をあけての着席にご協力をお願いいたします。
二酸化炭素量を測定して換気しています。

北海道聖化大会 会計係からの感謝とお願い

第32回の「北海道聖化大会」を目前にしております。いつも、お祈りを心から感謝いたします。
今年も当日の聖化大会の諸費用（45万円）のため、また、普段の準備委員会など諸費（26万円）のため。また、この働きが継続されていくためにお祈りとご協力を宜しくお願いいたします。昨年末、お便りをお届けいたしましたが、尚、覚えてくださいますよう心からお願いをいたします。

（会計係　小林）

①	集会献金	45万円
②	教会献金	20万円以上
③	特別献金（篤志献金）	10万円

北海道聖化大会の為の 献金振込先

ゆうちょ口座
（店名）　九〇八
（店番）　９０８　　２９４２６１６
（口座名）「北海道聖化大会委員会」

＊ご自分の郵貯口座から上記の口座にお送りいただく場合、送料は1回100円になります。
＊銀行、郵便局ATMもご利用できます。
＊振替口座番号：０２７６０−８−４８８６２

編集後記

■長きに渡って北海道聖化大会委員会を恵みの内にリードして来られた故高橋養二師の尊いお働きと主にあるご生涯を心より感謝致します。尚、ご家族、めぐみ教会の皆さま一同に主の豊かな慰めがありますよう、共に祈りましょう。

■二年ぶりの聖化大会の開催となります。関東より郷家一二三先生をお招きしています。主にある学徒であり、恵み溢れる説教家として用いられている器です。期待して大会のために祈りつつ、備えていきましょう。

■コロナは私たちの生活様式を一変させました。でも主イエスは、コロナ以上に、しかも、すべてを良き方向へと私たちの生き方を、在り方を、心を変容させる力のある方です！

（編集担当・山中）

編集・発行者
北海道聖化大会委員会
〔事務局〕
〒001-0027
札幌市北区北27条
西16丁目1-6
日本ホーリネス教団
札幌教会内
TEL 011-726-1912

印刷所
（株）三誠社
札幌市中央区北6条西15丁目
TEL 011-622-9211